

DCEモード用 オプション機能

DCEモード時、使用可能なオプションは以下のような種類があり、それぞれ組合せて使用可能です。

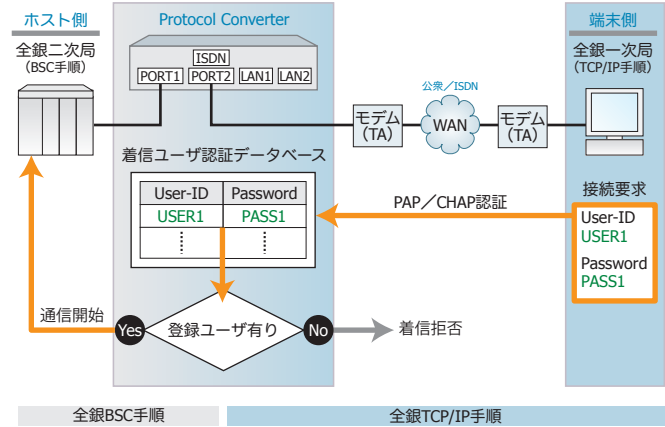
Option-1

ダイヤルアップ接続・着信ユーザの認証（PAP/CHAP）

ダイヤルアップ（PPP）を使用する構成において、全銀TCP/IP端末からの発信要求に対して、接続出来る相手を制限したい場合に使用します。相手を制限する為の認証方式は、

- ①認証を行わない ②PAP方式で認証を行う ③CHAP方式で認証を行うの何れかを選択出来ます。

標準最大登録件数 1,000件

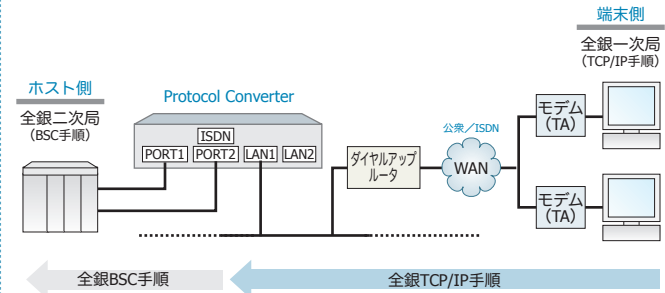


注意 ユーザ毎にPAP/CHAP認証を振り分ける事が出来ませんので認証を行う場合は、PAP又はCHAPで統一して頂く事になります。また、認証を行うユーザは、コンバータ内部に登録しますので追加する場合は、その都度、工注設定プログラムより追加して頂く必要があります。

Option-3

BSC側の2回線サポート

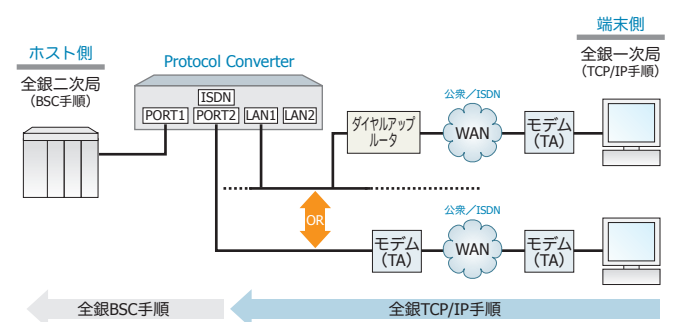
LAN構成（ダイヤルアップルータ経由）の場合に有効となるオプションで、1台のコンバータで、同時に2回線使用することが出来ます。



参考 コンバータIPアドレスは、2回線共有もしくは回線毎に個別IPアドレス設定が可能です。

Option-6

PPP回線とLANの同時使用



注意 ホスト側への接続は1回線ですので、モデム/TA接続(PPP接続)とダイヤルアップルータ接続(TCP接続)の何れか一方が通信中の場合は、もう一方は使用不可となります。

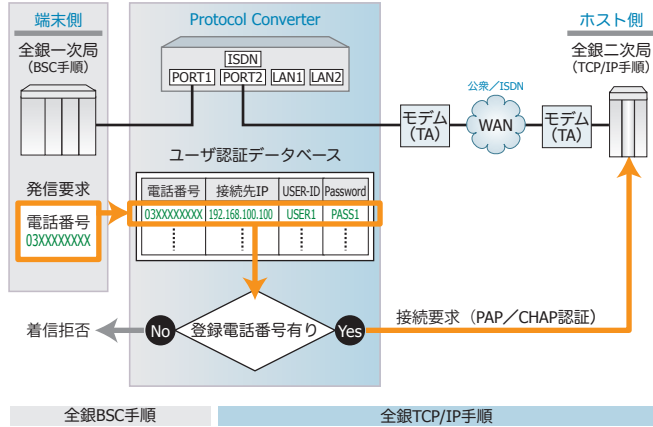
Option-2

BSCホスト側V.25bis (X.21アドレスコール) 発信

ホスト側からの発信要求をコンバータで受信後、ダイヤルアップ（PPP）かLAN経由で相手先の全銀TCP/IP二次局へBSC→TCP/IP変換を行って接続します。

ダイヤルアップ（PPP）の場合は、PAPかCHAP認証の使用も可能です。

標準最大登録件数 500件



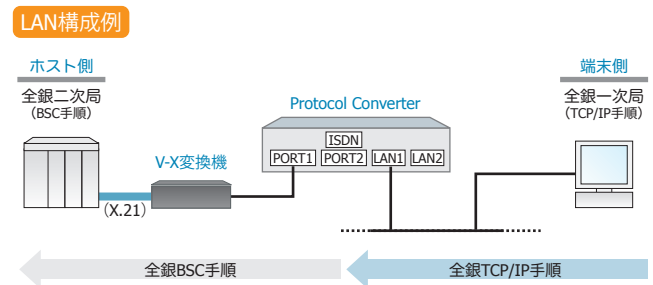
注意 接続相手先についての条件は、ホスト側からの電話番号をキーにしてコンバータ内部へ登録しますので、接続先が追加になる時は、その都度、工注設定プログラムにより追加して頂く必要があります。

Option-5

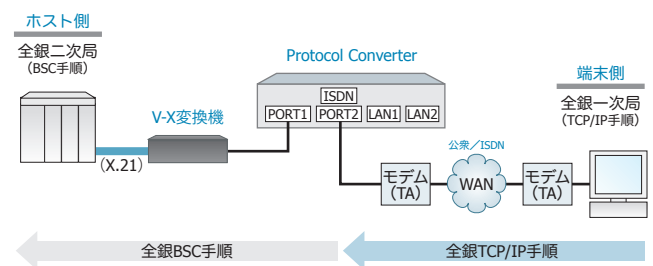
X.21インタフェースサポート

ホスト⇄コンバータ間に、V-X変換機を用いてX.21インタフェースでの接続をサポートします。（V.24⇄X.21インタフェースの物理変換）

変換コネクタで対応



PPP構成例



注意 PCNV-FT-1000シリーズでは、本オプションは使用できません。直接、装置をご指定ください。

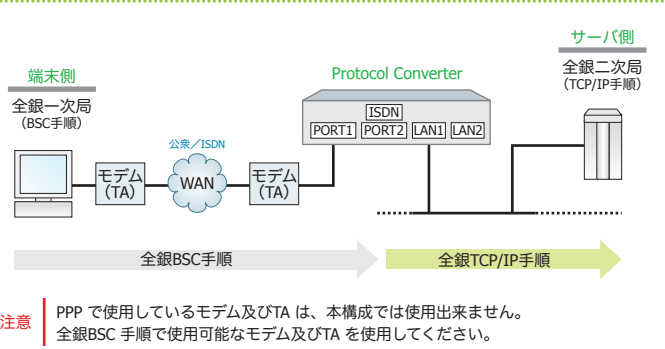
DTEモード用 オプション機能

DTEモード時、使用可能なオプションは以下のような種類があり、それぞれ組合せて使用可能です。

Option-11

DTEモードオプション

DTEモード動作時の必須オプション

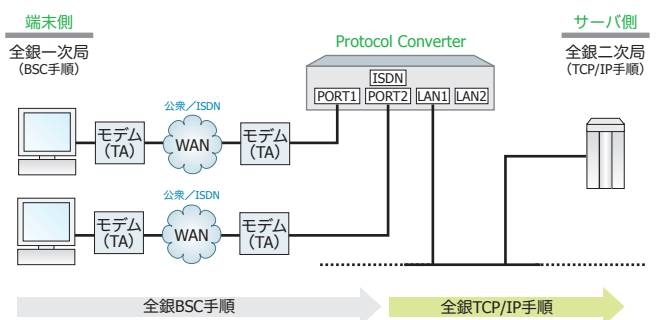


注意 PPPで使用しているモデム及びTAは、本構成では使用出来ません。全銀BSC手順で使用可能なモデム及びTAを使用してください。

Option-3

BSC側の2回線サポート（DTEモード用）

1台で、同時に2回線使用することが出来ます。



参考 コンバータIPアドレスは、2回線共有もしくは回線毎に個別IPアドレス設定が可能です。

Option-10

DTEダイヤル情報指示オプション

●接続先ダイヤル情報指示オプション

TCP側アプリケーションとの独自インタフェースを設け、全銀BSC側への接続先電話番号をTCP側アプリケーションより取得し、次回通信時に切替えたダイヤル情報を使用する方式です。

- Point 1 全銀TCP 端末製品は、メーカー及び製品を問いません。
- Point 2 別途ダイヤル情報切替アプリケーションを用意する必要があります。
- Point 3 全銀TCP 通信と別ソケットで切替処理を行う為、運用に注意する必要があります。（ダイヤル情報切替処理と全銀TCP 通信を連動して動作させること。）

●DTEダイヤル情報指示オプション + 弊社全銀TCP製品による接続先ダイヤル情報切替方式

弊社製品を使用することにより、全銀TCPより本製品を経由して、全銀BSC手順の相手先へ接続する場合、複数相手先へダイヤル発信が可能になります。

- Point 1 相手先通信条件とダイヤル情報の管理を全銀TCP側製品で一元化出来ます。
- Point 2 相手先の切替及び接続から通信までを一回のアクションで行うことが可能となります。

Option-12

DTEモードマルチIP対応オプション

●DTEモードマルチIP対応オプションでの接続先ダイヤル情報切替方式

本装置内に複数IPアドレス（最大20個）での待受けを行い、IPアドレスと発信先ダイヤル情報を関連付けたテーブルより、複数相手先へダイヤル発信が可能になります。

- Point 1 全銀TCP 端末製品は、メーカー及び製品を問いません。
- Point 2 最大20相手先/台まで設定可能です。（同一セグメント内で空きIPアドレスが個数分必要です。）
- Point 3 CH1/CH2を共有して振り分けて、相手先へのダイヤル発信が可能です。（CH優先設定も可能です。）

DTEモードをご使用になる場合の注意事項

DTEモードをご使用になる場合、BSC側でデータ遅延が発生し、全銀TCP/IP側の無通信タイムアウトが発生する可能性がありますので、全銀TCP/IP側の無通信タイマーを全銀規定の30秒より120秒程に変更してご利用ください。